

理由から法律で禁止されている。わが国では鉄道の並行区間等で競争を避け、あるいは設備や輸送力の関係上運輸量の配分の必要から、関係運輸機関の協定によりある区間の関係運輸機関の運賃を同額に定め、取扱および輸送を共同して行い運賃収入を共同計算とし、輸送の実態調査その他の根拠にもとづいて一定期間ごとに収入の配分を行う方式がしばしば行われている。

参考文献 Johnson and Van Metre ; Principles of railroad transportation (1926). Troxel; Economic of transport (1955). (佐藤佳年)

ふるえせん 古江線 志布志線志布志駅から西南方に延び鹿児島湾に面する古江駅に至る営業キロ 47.8km の線。日豊線に属する簡易線である。大正 10・8 古江・串良間大隅鉄道株式会社によって開通、昭和 10・6 政府に買収され古江線と呼称、昭和 10・10 志布志まで開通したものである。(森 梯寿)

ブルガリアのてつどう **ブルガリアの鉄道** ブルガリア国有鉄道 (Bulgarian State Railways) の最初の線路は、1866 年にダニユーフ河港ルスチュクと黒海岸のヴァルナの 224km の間に開通した。西のユーゴー国境ドラゴマンから首都ソフィアおよびプロヴディフを経由し、東のトルコ国境スヴレングラドまで、ブルガリアを横断して西ヨーロッパおよびトルコを連絡する国際連絡線は 1888 年に営業を開始した。さらに主要幹線の 1 つはプロヴディフからスタラザゴラを経由してスリヴェンおよび黒海岸のブルガスに通じている。他はソフィアからメスドラ、プレヴェン、ゴルナオリェコヴィカおよびシューメンを経由してヴァルナに達している。現在狭軌のストルマ・ヴァレー (Struma Valley) 線を標準軌間に改変する工事と、ブルガスおよびヴァルナをおおむね黒海にそって直接連絡する新線建設が行われている。

線路延長は 1946 年現在 1,435m 軌間が 3,334km, 0.76m 軌間が 245km, 0.6m 軌間が 153km となっている。機関車は 680, 客車 815, 貨車は 14,572 両である。

戦前の線路延長の 27% が平たん線, 29% が $\frac{1}{200}$ 以下, 44% は $\frac{1}{200}$ をこえる勾配線であるという事実が示すように、この国の鉄道は山岳線の多いことが顕著な特長である。

1947 年の貨物輸送トン数は、標準軌間では 8,024,885t, 1 t 平均輸送キロ 204km, 狭軌ではそれぞれ 508,925t および 63km で合計輸送トン数は 8,533,810t である。旅客輸送人員は広軌、狭軌それぞれ 41,460,106人, 平均乗車キロ 60km および 2,377,940人, 平均乗車キロ 44km で合計輸送人員は 43,838,046 人である。ソフィア・プロヴディフ間 174km に毎週 1 回シンプロン・オリエント急行 (Simplon Orient Express) が運転されているが、所要時間 (1954 年) 4 時間 41 分, 平均時速は 36.8km である。

参考文献 Tothill Press Ltd. 発行 Directory of Railway Officials & Year Book 1953~54. Henry Sampson 編 World Railways 1954~55. (光延有三)

ふるかわせん 古川線 東北本線一ノ関駅を起点とし、築館町、吉岡町を経て、東北本線の仙台駅を終点とする国鉄自動車路線で、これを所管する古川自動車営業所を古川市に、築館派出所を宮城県築館町に設置している。

1 区間・キロ程および沿革

一ノ関・吉岡町	67km	昭 17・6・20 開業
捫崎・有壁	1	昭 17・6・20
古川十日町・陸前古川	1	昭 17・6・20
吉岡町・仙台	25	昭 26・12・20
陸前三本木・陸前高倉	4	昭 29・12・10

築館町・石越	15	昭 29・12・10
陸前高清水・瀬峯	6	昭 29・12・10
金成・若柳仲町	11	昭 30・3・2

2 営業範囲 一ノ関・仙台間は旅客・手小荷物および貨物、その他の区間は旅客・手小荷物の運輸営業を行っている。

3 接続駅および業務委託駅

(1) 接続駅 一ノ関・有壁・石越・瀬峯・陸前古川・北仙台・仙台。

(2) 業務委託駅 金成・築館町・陸前高清水・陸前荒谷・陸前三本木。

4 使命 一ノ関・仙台間鉄道の先行代行線・鉄道短絡線、往時の街道筋で鉄道の恩恵に浴さない地方交通および沿線の産業開発を目的に開設されたもので、通年運輸を確保している。

5 特長 築館町・仙台間は国鉄バス、仙

台鉄道および陸前バスの 3 者が同一路線を運転しているの、この 3 者間において運輸協定を締結して、協定区間を乗車する普通乗車券および回数乗車券所持の旅客に限り、国鉄および民間いずれのバスにも乗車できる、相互乗車の方法が実施されている。その後築館町・石越間においても、国鉄バスと陸前バスとの間に前記の運輸協定を締結して、昭和 29・1・10 から、協定区間を乗車する普通乗車券、回数乗車券および定期乗車券所持の旅客に対して、相互乗車の方法を実施している。

築館町・仙台間を運行するバスに移動ポストを付けて、乗客および停車駅において郵便物発信の便をはかるとともに、郵便物の速達を期している。ただし移動ポストを付けたバスは現在 2 往復にかぎられており、運輸協定を締結した者が交互にこれを運転している。

近時古川市の七夕祭りは、仙台市について有名となり、非常にぎわいを呈している。沿線には杉葉師勸願霊場・炭焼藤太等の遺跡があるほか、迫川辺の源氏はたると天然記念物に指定されており壮観である。(福田幸市)

ブルマンカー (英) Pullman car (独) Pullman-Wagen 1859 年米国のブルマン氏がシカゴ・オールドン鉄道の客車 2 両を借受けて改造し、初めて寝台車を作った。1867 年ブルマン会社が設立されて寝台車を建造し、いっさいの備品・用度をととのえ、補給し、給仕等も乗り込ませて、これを鉄道会社に貸すようになり、その後寝台車のみならず食堂車等の貸付・運用もはかるようになった。このブルマン会社が所有し、貸付・運用をはかっている車がブルマン車であるが、米国では普通ブルマン会社の車と同様な設計の寝台車・食堂車等もブルマン車と呼んでいる。日本ではブルマン車の開放寝室と同様の設計の寝台 (上下 2 段で、上段寝台は舟形、下段寝台は昼間向き合ってすわるような構造の寝台) をブルマン式寝台と呼んでいる。(卯之木十三)

ブルマンかいしゃ ブルマン会社 (英) The Pullman Com-

